

スマホという「ガラスの部屋」から子どもを守るために

SNSに潜む「ガラスの部屋」のリスク

数分で場所が特定される現実

ショート動画の長時間視聴による脳への悪影響

善意を装ったネットの罠

数分で場所が特定される現実

ショート動画の長時間視聴による脳への悪影響

善意を装ったネットの罠

子どもを守る「心のカーテン」の引き方

親子の対話を恐れない

家族のルールを貫く

管理ツールの賢い活用

親子の対話を恐れない

家族のルールを貫く

管理ツールの賢い活用

夏休みを前に

いずかし

「自主、自立、自信」子供の「できた!」を見守る伴走者

R8. 7月9日 15号
文責：園田

今回の学校だよりは、私が先日、「知って
おきたいSNSで後悔させない使い方」を
テーマにした研修で学んだことを講話と関
連付けて紹介いたします。

① SNSアプリは次々に新しいものが開発
され、保護者世代でも追いつかない。(Google
ファミリーで家族を登録すると、子どものスマホで
登録したアプリの利用状況をリアルタイムで確認でき
る機能がある)

② ショート動画等で安易に画像を投稿することによつ
て想像もしない被害に遭ってしまう。(画像の一部か
ら、数分で場所と名前が特定されてしまう現実。結果
的にストーリー被害に遭い場合によつては最悪の結末
もある。面白半分で出した動画の炎上→多額の賠償請
求と誹謗中傷被害、デジタルタトゥーは一生消えない)
③ ショート動画の見過ぎは、前頭葉が萎縮し集中力が
無くなってしまふ。(結果として、長い映画が見られ
ない、本が読めない。ドバガキという言葉の出現)
④ 何気ない言葉の発信から、いじめが始まってしまふ。
(匿名性の高いツールでは、いじめ等の犯罪が見えに
くい。(解釈が難しい言葉の例)「誰とは言わないけ
ど...。楽しそうでいいよね〜。空気読め〜。」)
⑤ ネットで知り合った人を「善い人」と信じ込んでし
まい、要求通りに動いてしまふ。(イケボ、カワボに
要注意)
⑥ 拡散には善意の内容もあるが、犯罪への加担もある
ことを知る必要がある。

以上のことから、スマホを与えることは、世界中の
悪意と直結する「ガラスの部屋」の鍵を渡すこと同じ
こと。匿名で安心という錯覚を捨て、先を読む想像力
を育むことが最も大切だと思います。だからこそ、子
どもとの対話を恐れず、信頼を築き、家族のルールを
貫いてほしいと思いました。それだけが、「ガラスの
部屋」に引ける唯一のカーテンだと思います。

夏休みを前に、子どもの基本的生活習慣を整え、具
体的な想像力を育む。そして、学校も家庭ももっとアッ
プデートして子どもたちを守りましょう!

スクリーンタイム調査結果(前年比)

- 「改善した点」
- ① ゲーム機やスマホ等を制限付きで使っている子供
が9%増え、自由に使える子供が約9%減った。
※制限を設ける家庭が増え、意識の変化がみれま
す。
- ② 「学校が休みの日の使用時間」
3時間以上が4%減り、30分以内が1%と増えた。
※休みの日の使用時間が全体的に減っている。
- ③ 「学校がある日の使用時間」
30分以内の子どもが12%増え、1時間以内にする
子どもは約4%増えている。
※全体的な使用時間が大きく減っている。
- ④ 「スマホ所持者の家庭内ルール」
ルールが有るという回答が7%増えた。
- ④ スマホの所持率は若干減少している。
- 「課題点」
- ① 家庭で決めたルールを、「守っていないことが多
い」、「ほとんど守らない」と答えた子どもたち
が増えていく。
※ルールが保護者と子

昨年と比べると、ゲームやスマホの使用時間が大き
く減っていることが見えてきました。子どもたちと、
家庭の意識の変化が現れています。ゲームやスマホを
長時間使用してきた態度が改善していることが分か
ります。

また、ルールや制限付きで使っている児童も増えて
いますが、一方で、それらを守れない子どもが若干増
えているのが気になることです。ルールがどのような
形で決められたか分かりませんが、スマホのルール作
りは、一方的な押し付けにならない
いよう「親子で話し合って決める」
ことが最大のポイントです。利用
時間や場所などの基本事項を決め、
破ったときのルールもあらかじめ
設定しておくとういと思っています。
各学級の経年変化のデータと分
析は今後お知らせいたします。

